

# 2020年度 第35回テザー全日本選手権大会

2020年 10月24日(土)、25日(日)

和歌山セーリングセンター(和歌山市毛見1514)

主催：日本テザー協会

運営主体：和歌山県セーリング連盟、和歌山セーリングクラブ

## 帆走指示書

### 1 規則

1.1 本レガッタは『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。

1.2 セーリング競技規則 付則 G3 を次のとおり変更し適用する。

#### G3 チャーターまたは借用艇

レース公示、または帆走指示書に記載している場合、大会のためのチャーター艇または借用艇には、クラス規則に反している国を示す文字や他の参加者と重複しないセール番号を付けることができる。

1.3 セーリング競技規則 87 およびテザークラス規則解釈 29 に基づき、テザークラス規則を次の通りに変更する。

- ・ C.1.5 国を示す文字とセールナンバーは最低次の寸法でなければならない。高さ：300mm、幅：200mm（1とIを除く）、太さ：50mm。隣接する数字の間隔は、およそ50mmでなければならない。

- ・ C2.2(o) シュラウドテンションを調整する 19mmRCB システムを装備することができる。

RCB システムは以下の艀装品または同等品から構成される：

Ronstan RC11902 Cars

Ronstan RC11980 Track Ends

Ronstan RC1190 - 1.0 Track

Clamcleat CL268AN Cleats

Ronstan RF 1850S Shackles

18mmの硬質の合金あるいはステンレスで、両側のトラック端からおよそ15mm以上伸びる長さの、ガンネル下の負荷分散用のサポートロッド。

ガンネル下のサポートロッドは、どの方向にも17mm以上の直径であることを条件に、ワッシャーやナットを固定させるために、その全長にわたって平らに表面加工されていて良い。

## ネジの固定

RCBトラックとガンネル下のサポートロッドは前後両端が4分の1インチ(6mm)のネジで固定されていなければならない。他の中間の(1あるいは2本の)ネジは16分の3インチ(5mm)あるいは4分の1インチ(6mm)で良い。前端を持ち上げるパッキンは許可されていない。

## 計測

バウのUボルトあるいはサドルと前側のトラック端のネジ穴を写真のようにデッキレベルで計測した長さは、最少2125mm、最大2135mmでなければならない。カーの移動範囲は140mmを超えてはならない。

- ・ C.6 削除。

## 2 競技者への通告

競技者への通告は、クラブハウス北側壁面に設置された公式掲示板に掲示する。

## 3 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の09:00までに掲示する。

## 4 陸上で発する信号

4.1 陸上で発する信号は、クラブハウス2階北側に設置されたフラッグポールに掲揚する。

4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「30分以降」と置き換える。

## 5 レース日程

### 5.1 レースの予定

10月24日(土)、25日(日) 各日3レース、但し天候等により前倒しして実施する場合がある。

5.2 10月24日(土)の最初のレースの予告信号の予定時刻は、11時15分である。

## 6 クラス旗

クラス旗はテザー旗を用いる。テザー旗とは白旗の中央に赤色のテザークラスのマークを記したものである。

## 7 レースエリア

添付Aにレースエリアの位置を示す。

## 8 コース

- 8.1 添付Bの見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 8.2 予告信号以前に、レース委員会の信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 8.3 予告信号以前に、レース委員会の信号艇に国際数字旗 1 が掲揚された場合はコース 1 を、国際数字旗 2 が掲揚された場合はコース 2 を帆走すること。

## 9 マーク

- 9.1 マーク 1、2 および 3 は黄緑色の円錐形ブイとする。
- 9.2 帆走指示書 11 に規定する新しいマークはピンク色の円錐形ブイとする。
- 9.3 スタートマークは、オレンジ旗を掲揚したレース委員会艇とオレンジ円筒形ブイである。
- 9.4 フィニッシュマークは、オレンジ旗を掲揚したレース委員会艇と、オレンジ色の三角錐形ブイである。

## 10 スタート

- 10.1 スタートラインは、スターボードの端にあるスタートマーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端のスタートマークの間とする。
- 10.2 スタート信号後 5 分より後にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった』と記録される。これは規則 A4 を変更している。

## 11 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し（またはフィニッシュラインを移動し）、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

## 12 フィニッシュ

フィニッシュラインは、スターボードの端にあるフィニッシュマーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ポートの端のフィニッシュマークの間とする。

## 13 ペナルティー方式

付則 P を適用する。

## 14 タイムリミットと目標時間

14.1 先頭艇のタイムリミットは、スタート信号の 70 分後とする。

14.2 規則 30 に違反しないでスタートした先頭艇がコースを帆走して、フィニッシュ後 20 分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった』と記録される。この項は、規則 35 を変更している。

## 15 抗議と救済要求

15.1 抗議書は陸上本部で入手できる。抗議、救済要求、及び審問の再開の要求は抗議締切り時間内に陸上本部に提出されなければならない。

15.2 抗議締切り時間は、最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。

## 16 得点

16.1 シリーズの成立には、2 レースを完了することが必要である。

16.2 艇のシリーズの得点は、4 レース未満しか完了しなかった場合は、レース得点の合計とする。4 レース以上完了した場合は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

16.3 帆走指示書 17.1 の申告に関する手続きの誤りがあった艇に対して審問なしに 20%の得点ペナルティーを加算する。但しその艇は「フィニッシュしなかった艇」より悪い得点が与えられることは無い。但し出艇申告は直後のレース、帰着申告はその直前のレースにペナルティーを課す。

## 17 安全規定

17.1 出艇しようとする艇の艇長、および帰着した艇の艇長は、出着艇申告所で「出艇・帰着申告」をしなければならない。

17.2 レースからリタイアする艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。

17.3 衣類または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、水上にいる間は常に規則 40 を適用する。この項は、第 4 章前文を変更している。

## 18 装備と計測のチェック

18.1 艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。水上では、艇は、レース委員会のエキップメントインスペクターまたは計測員により検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。

18.2 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは認めない。交換の要請は、最初の

妥当な機会に、レース委員会に行わなければならない。

## 19 支援艇

支援艇はピンク色の識別旗を掲げなければならない。

## 20 ゴミ処理

艇は、ごみを水中に捨ててはならない。ごみは、支援艇およびレース委員会艇に渡してもよい。

## 21 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。また、この制限は携帯電話にも適用する。

## 22 賞

賞は次のように与えられる。

1) 1～6 位

2) マスタークラス(乗員の合計年齢が 80 歳以上 99 歳以下) 1 位

3) グランドマスタークラス(乗員の合計年齢が 100 歳以上 119 歳以下) 1 位

4) スーパーグランドマスタークラス(乗員の合計年齢が 120 歳以上) 1 位

年齢に関わる表彰は実施された全てのレースにおいてそれぞれの要件を満たした場合に対象となる。クルーの年齢は大会初日の時点を基準とする。主催者は上記以外の賞を設ける場合がある。

## 23 容認事項

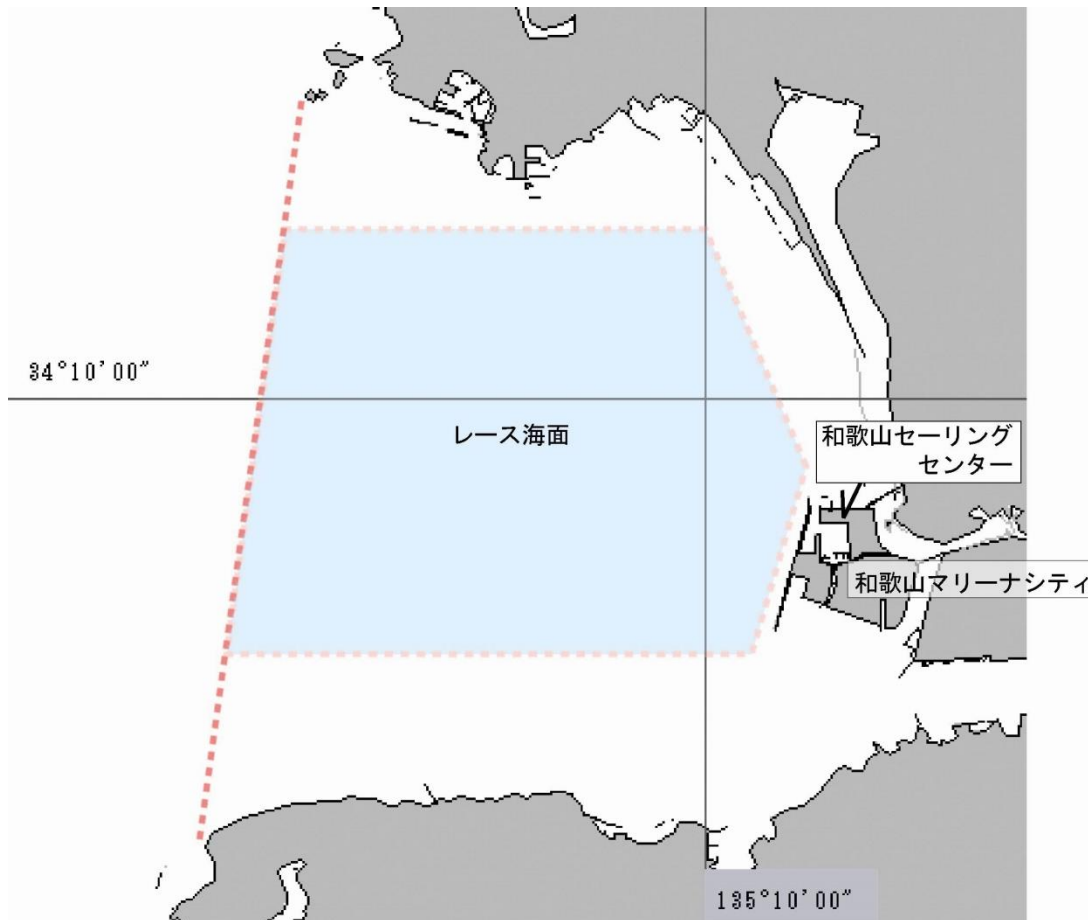
本レガッタの参加者は、次に掲げる事項について、予め許諾するものとする。

(名前や画像を使用する権利) 本大会に参加するにあたり参加者は、競技中の参加者のあらゆる動画、写真、ライブ、テープあるいはフィルムによるテレビ映像やその他の複製を、時あるごとに主催者の判断で大会に関するあらゆるものに作り、使い、公開する権利を、主催者に対し無償で永続的に譲渡したものとする。

## 24 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4 [レースすることの決定] 参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

添付A (レースエリア)

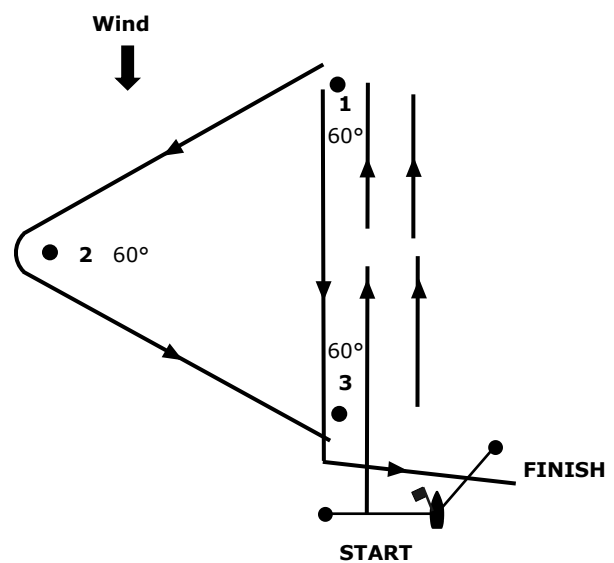
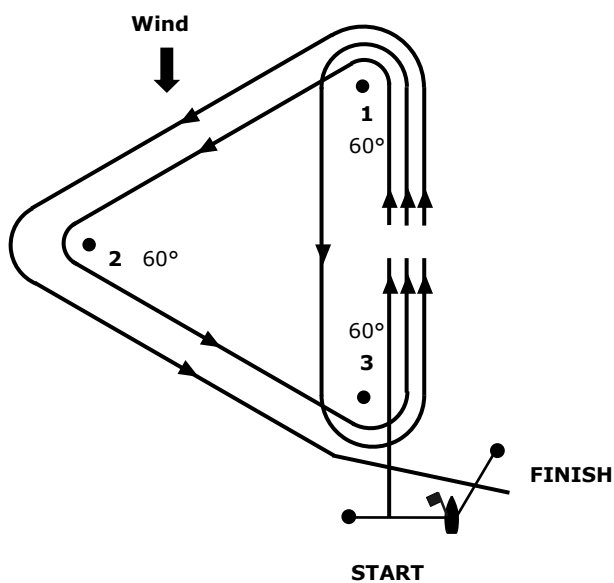


添付B (帆走するコース)

コース 1 (国際数字旗 1) スタート - 1 - 2 - 3 - 1 - 3 - 1 - 2 - 3 - フィニッシュ  
 コース 2 (国際数字旗 2) スタート - 1 - 2 - 3 - 1 - 3 - フィニッシュ

コース 1

コース 2



## 変更履歴

バージョン	変更日	変更点
1	2020/10/1	初版作成
2	2020/10/21	16.1変更